

令和4年度

霧島市議会産業建設常任委員会

行政視察報告書

(福井県福井市・長野県長野市・東京都台東区)

令和4年11月8日(火)～10日(木)

産業建設常任委員会行政視察

1 視察日程 令和4年11月8日（火）～10日（木）

2 視察先及び視察内容

(1) 福井県福井市

・リノベーションによるまちづくりの推進について

人 口	258,929人	
世 帯 数	106,633世帯	(令和4年9月1日現在)
面 積	536.41km ²	

(2) 長野県長野市

・鳥獣害対策とジビエ加工センターについて

人 口	369,702人	
世 帯 数	179,445世帯	(令和4年9月1日現在)
面 積	834.8km ²	

(3) 東京都台東区

・浅草文化観光センターの運営について

人 口	215,180人	
世 帯 数	111,996世帯	(令和4年9月1日現在)
面 積	10.11km ²	

3 視察報告

■ リノベーションによるまちづくりの推進について

11月8日（火） 午後3時00分～ 福井市議会

① 事業概要

2018年からスタートしたプロジェクト実践型エリアリノベーション講座「ディスカバー福井」は、地域課題を解決し地域の良さ、個性を活かしてまちを元気にし、活性化を本気で考えると同時に未来の担い手を育成する事業であり、福井独自の個性と魅力を生み出すものである。

② 主な質疑

Q：どのような課題が生れ、どのような解決を図ってきたか。

A：不動産オーナーの協力が必要だが連携が難しかった。第3セクターが間に入り、オーナーに対ししっかり趣旨説明をした。

Q：創業希望者への行政等との関わりや流れはどうか。

A：窓口相談の受付け、支援事業の案内、商工会義所等へのワンストップ支援を行っている。

③ 所 感

福井市は、北陸新幹線の開業を見据えた福井駅周辺の再開発事業と既存ストックを活用したリノベーションが共存し、お互いが補完する事が福井独自の個性、魅力を生み出すとしている。我々の霧島とはちょっと状況が違う。霧島は街中だけでなく中山間地の（独自の方法を見つけ）リノベーションをする必要もある。研修の中で女性の力は侮れないと福井市はしていたが、霧島も女性の力に期待しているのは良かった（きりしま女性起業ラボ 2022）。



■ 鳥獣害対策とジビエ加工センターについて

11月9日（水） 午後1時30分～

長野市議会

① 事業概要

有害鳥獣として捕獲されたイノシシや鹿を今までは地下に埋設処理をしていたが、地域資源として活用するため市がジビエ加工センターを建設し運営している。また、軽保冷車や移動式解体処理車も所有している。

② 主な質疑

Q：猟友会の会員及び長野市ジビエ協力隊の人数は

A：猟友会 400 名，協力隊 197 名。

Q：ジビエ協力隊について

A：鳥獣被害対策実施隊の中から選任し，市が協力隊として正式選任。

③ 所 感

市長の公約でもあったジビエ加工センターは，地域資源「ジビエ」として無駄なく有効活用して，農業被害を防ぐ目的及び軽減，捕獲者の労力の軽減につなげ，中山間地の活性化を図るために平成31年2月に完成，4月から運営されている。現在の加工は豚熱の影響もあり鹿のみの加工となっている。安心安全面や衛生面について大変な苦労されている。収支については令和元年2,500万円の赤字，令和3年800万円の赤字となっている。100kg以上を求める事業所は8社，学校給食への提供，ペットフードに3割を活用されている。車輛等については，イノシシには効果的であるが鹿は体長があり利用しづらく余り活動していないとのこと。イノシシの捕獲が再開されれば利益も上るかも知れないが，やはり一市単独の経営または加工システムそのものの運営は厳しいと思われた。



■ 浅草文化観光センターの運営について

11月10日（木） 午前9時30分～ 東京都台東区（浅草文化観光センター）

① 事業概要

日本有数観光地に立地し多くの観光客が訪れている多言語の観光案内や情報検索用端末、無料Wi-Fiも整備されており、観光客の利便性を高めるサービスを提供している。また、観光ボランティア団体と連携し観光案内業務や無料ガイドも実施している。

② 主な質疑

Q：観光ボランティアはどんな組織があるか。

A：東京SGGクラブ（英語）、台東区観光ボランティアの会（70名）の組織で、浅草、上野、谷中のガイドを勤めている。

③ 所感

浅草観光文化センターは、観光案内中核施設として訪れる観光客の利便性や回遊性の向上を図るため平成24年リニューアルオープンし地下1階地上8階建てでコンセプトを「深せる、見せる、支える」としてまさに観光案内拠点としての役目を果たしている施設である。区直営で平成30年度の入館は120万6千人である。

国際観光都市である台東区の観光施策は受け入れの充実が主であろうと思ったが、それだけではなく、やはり区外に対し観光振興計画がなされて基本方針があった。1）区内観光事業者の「稼ぐ力」を高める。2）区民の生活向上を意識した観光基盤づくり。3）誘客の分散化と量の観光から質の観光への転換である。中でも国内修学旅行の誘致も掲げられていたが、これは将来のリピーター確保を考えての事で大変感動した。



4 行政視察を終えて（委員長 木野田 誠）

福井市：老朽化した遊休不動産を有効活用し、地域の価値向上を図るリノベーションによるまちづくりを推進している。また使用されていない建物や空き地の新しい利用方法を第3セクター、民間主導により考えまちを発展させていくことを目標として取り組み、かつ同時に北陸新幹線の開業を見据えたまちづくりが共存しエリアの魅力向上につなげている。

長野市：ジビエ加工センターは、地域資源を有効活用すべく、また農業被害の防止軽減、捕獲者の労力軽減を目的として中山間地域の活性化を図るため建設され、その成果は発揮されている。

台東区：浅草文化観光センターは、日本有数の観光地浅草に立地し、多くの観光客が訪れる外国人観光案内所として4ヶ国語の案内、情報案内端末や外貨両替所の設置等を行い観光客の利便性を高めている。またボランティア団体と連携し観光案内業務や区内観光施設を無料で案内するガイドクラブも実施している。

以上3ヶ所の研修視察であったが、まちの大きさはそれぞれ違えども、それなりに創意工夫を一生懸命されているのが見られました。基本的な部分はどこも一緒であると考えます。我々も一つでも参考にして霧島発展の為方向性を見出す事が大事であると感じました。以上、この3日間において、たいへんお世話になりました各議会の皆様、現場担当職員の皆様及び各関係機関の皆様に感謝を申し上げ、報告と致します。

霧島市議会議長 阿 多 己 清 殿

産業建設常任委員会 委員長 木野田 誠
副委員長 鈴木 てるみ
委員 植山 太介
委員 久木田 大和
委員 前田 幸一
委員 塩井川 公子
委員 徳田 修和
委員 池田 綱雄
委員 下深迫 孝二
事務局 有村 真一